

平成30年度 学校関係者評価実施報告書

学校名	県立沼津東高等学校
-----	-----------

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	◎人としての在り方を考え、主体的に判断し、周りの人と協働できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動の満足度／90%以上※ ・ルールを守っている／90%以上※ ・部活動の満足度／90%以上※ ・1部活1ボランティアの実践 ・生徒の奉仕活動参加／100% ・交通事故件数／前年比3割減 ・情報モラル関連の生徒指導／0件 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故については、1年生の入学後に多いことから、入学後早目の指導が必要であると感じました。 ・できれば、上級生が1年生に指導するような形をとればと思います。この際、指導側の上級生には過去事故にあった生徒にってもらうことで、上級生自身への指導にもつながると思います。
	◎広い視野と行動力を持った生徒を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席遅刻者数／1日3人以内 ・式や学年集会での時間厳守 ・学校いじめ防止対策組織の再点検 ・体罰／0件 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・陰湿ないじめは無いと思いますが、上級生から下級生への体罰には、注意してほしい。 ・部活動での意見の食い違いは、部活動への思いからだと思っておりますので、時間が解決する問題だと思っております。 ・欠席者が上級生ほど増加しているのが気になります。
イ	◎「高い志」の実現を目標に主体的に学習し豊かな自己を実現しようとする生徒の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の満足度／90%以上※ ・各種行事の満足度／95%以上※ ・職業を知るセミナー、大学出張講義の冊子作成 ・進路行事、各種模試等への参加／100% ・「進路の手引き」作成 ・教育課程編成案の作成 ・学校行事評価の実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の段階で将来の職業を見つけるのは難しいですが、過去の「職業を知るセミナー」を冊子にまとめられれば、参考になると思う。 ・「職業を知るセミナー」は、1年生の出席は必須としても、2年生や3年生が自由に参加できるような方法をとればと思います。文理選択のためだけでなく、将来のビジョンを描くうえで、上級生も悩む点だと思っておりますし、1年2年経って、もう一度聞きたいということもあると思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・5教科6・7科目型センター試験受験者／90%以上 ・国公立大学現役合格者／150人以上 ・難関大・医学部進学者／40人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進学実績は、中学生の受験にも影響が大きいし、OBの誇りにもなります。 ・その中で、東大・京大・早稲田・慶応の合格者人数は、週刊誌にも記載され、影響が大きいと思います。進学実績ばかりが目されるのは、あまり良いこととは思いませんが、自習室などの環境づくりに配慮して頂ければと思います。 ・また、個人的には能力別クラスによる授業は、すべての生徒に効果が大いと思っています。
ウ	◎生徒の自己肯定感の獲得 ◎学校生活の充実 ◎希望ある未来像形成の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく充実した生活を送っている／90%以上※ ・生徒情報を共有するシステムの確立 ・個別支援計画等の作成 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画は、無理のない範囲での作成で良いと思います。面談等の記録は大事ですが、多くの生徒の指導計画を作成するには、簡素なものにする必要があると思います。 ・アンケートのフォローを重要視してほしいと思います。
カ	◎英語によるコミュニケーション能力が高く、国際感覚豊かな生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生希望者数／40人の確保 ・ワークショップ回数／15回 ・TOEIC(IP)TEST回数／2回 ・米国研修報告書の発行 ・国、県、民間のプログラム参加 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会の協力もあり、英語の能力の高い生徒には、とても良い環境ができていると思います。 ・受験でヒヤリングが重視されていることもあり、英語の苦手な生徒への対応が課題だと思っています。
ク	◎生徒の学びや進路志望実現を支援する教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・研修成果や進路情報に関する報告、関係資料の配布／5回以上 ・学習履歴DBの構築 ・パフォーマンス課題を用いた研究授業の実施 ・ルーブリック評価の実践事例作成 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の忙しさが、研修等の機会を妨げることになりかねないので、あまり多くの書類を作成することに専念しないよう、書類の簡素化が必要だと思っています。
	◎倫理観と危機管理意識の高い教職員集団の育成 ◎健康・健全な職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほう・れん・そう」の励行 ・教職員の不祥事根絶 ・校外防災訓練参加率の向上 ・健康診断受診率／100% ・定時退勤の励行 ・働き方を変える1分掌・1提案 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の指導など、長時間の勤務になることも多いと思いますが、週に1日、2日定時に退勤できるよう環境づくりに配慮してほしい。 ・教職員が元気でなければ、生徒も元気がでないので健康診断後、再診のある方は積極的に受診できるよう配慮が必要だと思っています。